



日本付近における震源の分布図を判断する問題

共通テスト

河合塾

第1問 問5

冬期講習 共通テスト攻略 地理 B 第2講 第1問 問1

問 5 次の図 6 中のタ～ツは、図 7 中の P～R のいずれかの範囲において発生した地震*の震源について、東西方向の位置と深度を示したものである。タ～ツと P～R との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

*2012～2020年に発生したマグニチュード3以上の地震。

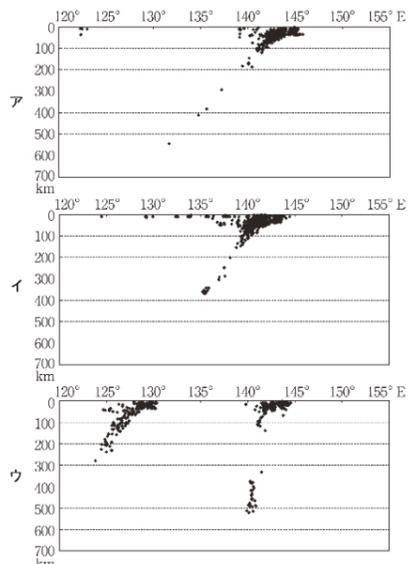
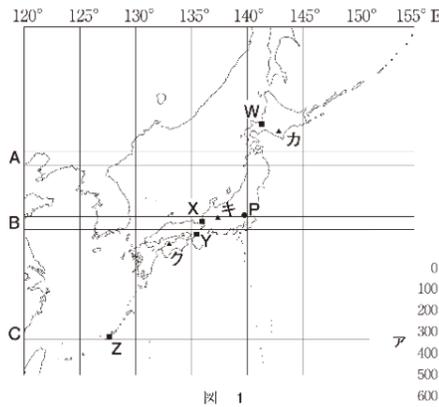
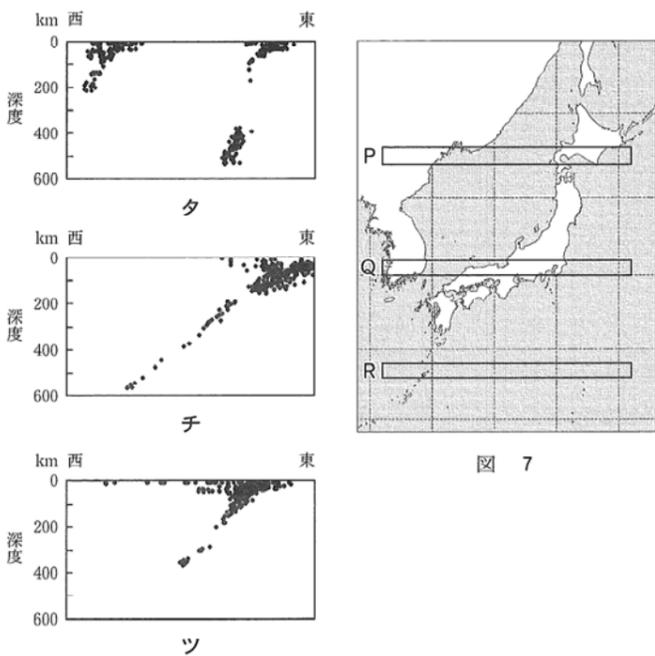
第1問 日本の自然環境と世界の環境問題に関する次の問い(A・B)に答えよ。

A 日本の自然環境に関する次の問い(問1～4)に答えよ。

問 1 次の図 2 中のア～ウは、次の図 1 中の A～C のいずれかの範囲*で発生した地震**の震源の東西方向の鉛直分布を示したものである。ア～ウと A～C との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

*緯度は1°、経度は35°の範囲。

**2009年2月から2019年2月に発生したマグニチュード2.5以上の地震。



USGSの資料により作成。

図 6

図 1

USGSの資料により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	P	P	Q	Q	R	R
チ	Q	R	P	R	P	Q
ツ	R	Q	R	P	Q	P

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

共通テストでは、日本列島の3つの緯度帯における震源の分布図を判定させる問題が出題された。冬期講習「共通テスト攻略 地理 B」でも同様の問題を扱っており、ともに判定の根拠となる海洋プレートの沈み込みによる地震と日本列島の活断層による地震の場所が類似している。